

## A. 主な動き

### 1. 内政

#### 言語関連法案審議を巡る動き

・24日、最高会議野党議員は、地域党議員提案の「国家の言語政策の基本政策に関する」法案(ウクライナ語以外の言語話者が多い地域における同言語の使用機会の増加を想定したもの)の審議開始に強く反対、与野党議員の間で乱闘が発生し、「BYT - パチキフシナ」議員1名が負傷。乱闘の発生を受け、リトヴィン最高会議議長は、同日の本会議審議の終了を宣言。

・25日、同最高会議議長は、ウクライナの議会制度及び最高会議の原則が崩壊したとし、最高会議の解散を提案。これに対し、地域党議員等は、同提案は現実的でない旨非難。同日、リトヴィン議長は、野党議員によって議場が封鎖されたことを受け、同日の本会議審議の中止を発表。24、25両日、最高会議周辺で同法案に反対する集会が開催。

#### ティモシェンコ前首相に関する動き

・国家刑務所管理庁は、19日プロタセヴィチ欧州議会副議長が、25日フェルホフスタット欧州議会ALDE会派代表等がハルキフ国鉄中央病院を訪問しティモシェンコ前首相と面会した旨発表。

・21日、ハルキフ市キエフ地区裁判所は、ティモシェンコ前首相の健康問題を理由に「ウクライナ統一エネルギー・システム」社に関する同前首相の刑事事件の審理を6月25日に延期した旨発表。同日、国家刑務所管理庁は、ティモシェンコ前首相の治療にあたる独病院「シャリテ」のライスガウエル女医がハルキフに到着した旨発表。

・24日、国家刑務所管理庁は、ティモシェンコ前首相による義父の葬儀参列のため病院からの一時外出許可の申請を却下、一方で親族との電話での会話を許可した旨発表。

#### 大統領の動き

・19日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国内報道機関のインタビューにおいて野党政治家に対する刑事訴追問題等に関する欧州からの非難に対し回答する用意がある旨発言。

・23日、ヤヌコーヴィチ大統領は、地域党、「未来のための改革」グループ、国民党及び共産党の最高会議会派代表者と会談し、憲法評議会には野党を含めた全会派代表が参加する必要性を強調、憲法改正なしに欧州議会に対する義務である司法改革を継続することは不可能である旨言及(「BYT - パチキフシナ」及び「我々のウクライナ・国民自衛」会派代表者は同会談を欠席)。

・24日、ヤヌコーヴィチ大統領は、地方連携会議に出席、改革に消極的な閣僚を解任するようアザーロフ首相に改めて指

示。

#### 世論調査

[レイティング社]

・5月初旬に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(投票意思の無い者を除く)

「パチキフシナ」党:(「変化の前線」党との協力)25.6%、地域党:22.0%、「ウダール」党:9.2%、共産党:7.6%、「スヴォボダ」党:4.4%、「ウクライナ 前進」党:3.8%、「市民の立場」党:2.4%等(態度保留:19.0%)

・5月初旬に大統領選挙が実施された場合の候補者支持率(投票意思の無い者を除く)

ヤヌコーヴィチ大統領:21.9%、ティモシェンコ前首相:16.0%、ヤツェニユーク「変化の前線」党首:9.6%、クリチコ「ウダール」党首:8.8%、シモネンコ共産党党首:6.9%、コロレフスカ「ウクライナ 前進」党首:4.1%、チャフニボク「スヴォボダ」党首:3.6%等

・調査は5月5日から14日にかけて2,000名の成人を対象に実施。

### 2. 経済

#### マクロ経済

・22日、アルプゾフ中央銀行総裁は、2012年4月時点の国家債務GDP比が36%となり、同年1月時点の39.9%から改善した、これは国際収支の改善が主な原因である旨発言。

・23日、中央銀行は、2012年4月時点の国際収支が対前月比35.5%改善の5億800万ドルと発表。

#### 財政・金融

・22日、最高会議は、2013年における国家予算赤字をGDP0.8~1.0%以内に抑えろとの政府財政方針を承認。

・22日、アルプゾフ中央銀行総裁は、2012年の外国為替市場は安定的に推移しており、年初から現在までの中央銀行の為替介入は全体取引の1.6%に過ぎない旨発言。

・23日、ポロシェンコ経済発展・貿易相は、ロシアVTB銀行からの20億ドルの借入(返済期限は本年6月)への一部返済のため、10億ドル相当の2年物国内債を発行する旨発言。

#### 政策

・22日、最高会議は、関連法律の改正により、2012年欧州サッカー選手権の会場内での喫煙、タバコの販売・広告を禁止。

・23日、ティヒプコ副首相兼社会政策相は、(現在、議論されている新労働法典について)冷静に議論する雰囲気が必要であり、秋の議会選挙後に採択すべき旨発言。

・23日、ティヒプコ副首相兼社会政策相は、年金基金赤字が

拡大した場合、第2段階目の年金制度導入を延期しなければならない、第2段階目の年金制度は2014年に導入するのが望ましい旨発言。

・23日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アザーロフ首相及びリトヴィン最高会議議長に対し、釐済税導入に関する法案の採択を加速化するよう指示。

#### IMF

・21日、IMFは、2012年の4条協議(IMF協定第4条に基づき、年一回、加盟国の経済状況・政策について協議を行うもの)のため、キエフを訪問。

#### ガス問題

・25日、エネルギー・石炭産業省は、ウクライナ国内産ガスは2035年に年600億m<sup>3</sup>まで増産可能であるとする「ウクライナの天然ガス及びエネルギーの将来」と題するIHSエネルギーコンサルティングによる調査結果を発表。

・同日、ボイコ・エネルギー・石炭産業相は、26日からの米国訪問を前に、ウクライナは米国からの液化ガス輸入の可能性につき検討中である旨発言。

#### その他

・23日、コレスニコフ副首相兼インフラ相は、ボリスピリ国際空港ターミナルDのオープン後、ターミナルA及びBは閉鎖し、ターミナルCはチャーター便及び格安航空便として使用する旨発言。

・23日、コレスニコフ副首相兼インフラ相は、国内航空便の運賃引き下げのため、航空会社の法人税免除、航空税の一部補てん等を通じて少なくとも現行価格から30%の価格引き下げをめざす旨発言。

・21日、国家鉄道局は、韓国のヒュンダイ社によって導入されたキエフ・ハルキフ間及びキエフ・リヴィウ間高速鉄道が5月27日に運行を開始する旨発表。

・23日、アーネスト&ヤング社は、年次世界汚職調査において、調査対象50か国中、汚職度の高い国トップ3として、ウクライナ、コロンビア及びブラジルの3か国を明示。

### 3 . 外政

ヤヌコーヴィチ大統領のNATOシカゴ首脳会合に際する「アフガニスタンに関する会合」出席(21日)

・20日、NATOは、「シカゴ首脳会合宣言」において、ウクライナはNATO主導の作戦及び核不拡散に貢献しているとした上で、ウクライナにおける野党指導者に対する政治的動機に基づく恣意的裁判及び勾留状況への懸念を表明し、ウクライナに対し司法制度の欠陥の解決及び最高会議議員選挙の自由で公正な実施を要求。

・21日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナも国際治安支援

部隊(ISAF)貢献国として2015年から2024年までのアフガニスタンに対する長期的支援を支持する旨発言。

・同日、ヤヌコーヴィチ大統領は、コモロフスキ・ポーランド大統領との会談においてウクライナの欧州統合問題に関し、バセスク・ルーマニア大統領との会談において両国関係の活性化に関し協議。また、カルザイ・アフガニスタン大統領との会談においては貿易・経済協力に関する両国政府間委員会の創設に関し協議。

#### 欧州議会決議採択

・24日、欧州議会は、ストラスブールにおいて、ウクライナ・EUの戦略的關係に鑑み、欧州基準に基づかない前政権関係者に対する司法手続きに関し再度懸念を表明し、政治的動機に基づく判決により収監されている野党指導者等の解放をウクライナに要求する旨の決議を採択。

・同日、ウクライナ外務省は、本決議はウクライナ・EUの戦略的關係が欧州議会により確認された証左であるとし、決議で指摘された司法改革は現在ヤヌコーヴィチ大統領の主導により実施中である旨のコメントを発表。同省は、また、ティモシェンコ前首相の問題に関し、上告審は未了であり、同前首相には例外的に国外の医師による治療が行なわれている等として、同議会による評価は多少感情的である旨指摘。

### 4 . 防衛

・22日、ヤヌコーヴィチ大統領は、アフガニスタンからの軍隊撤退におけるウクライナ・NATO覚書に基づく戦略的な輸送機の提供を継続する準備ができている旨発言。

・23日、国防省は、ウクライナ海軍とロシア黒海艦隊との「平和の航路2012」合同演習がセヴァストポリで開始、軍艦10隻以上、航空機及びヘリコプター6機が参加する旨発表、合同海難捜索・救助訓練等が目的。

・23日、クリューエフ国家安全保障・国防会議書記は、ウクライナの軍事ドクトリン及び国家安全保障戦略が間もなく大統領によって制定され、軍改革は軍隊の最適化、脅威への即応対処訓練、機能の発展・改善の3段階で実施される旨発言。

・24日、最高会議は、2012年に国際軍事演習参加のためウクライナ領内に立入る他国軍の認可に関する大統領令を採択、米国との「ラピッド・トライデント2012」及び「シーブリーズ2012」、露及びベラルーシとの「スラブ共同体2012」、露との「平和の航路2012」及び防空軍参加演習、ベラルーシとの防空軍参加演習が該当。

(了)